

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)		ゴルフ場（経営者）	単価の動き	・今まで集客に用いていた割引料金を一切廃止し、単価がはるかに高い公示料金を設定したが、それでも来客数は増えている。
		コンビニ（経営者）	来客数の動き	・夕方から夜間にかけて、来客数が増加している。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・前年を僅かではあるが上回っている。
		通信会社（店長）	来客数の動き	・通常であれば客数が落ち込む2月だが、月初より来店が多く、特に他社からの乗換えが好調を保っている。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・簡易宿泊施設の工事着工待ちの案件がある。また、当社所有の建築条件付の土地を購入して、戸建て住宅を建築予定の客がいるなど、富裕層の投資、建築意欲は強い。
		住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・住宅展示場への来場者数が前月比102%、前年同月比83%である。
		百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・モチベーションのバレンタインが前年より良かったことと、紳士服関連の動きが良かったことで、財布のひもが緩んだ感触があった。また、春節が前年より後にずれたことによる底上げ感もあった。
		その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	お客様の様子	・この頃、平日は単価の安い少人数でコミュニケーションの取れる小さな店舗、週末は団体で大型店舗というパターンができ上がっているが、スタッフの人数が足りなく、集客できる週末に入店規制をしないとイケないという機会損失を起している。
		観光型ホテル（代表取締役）	来客数の動き	・春節が前年は1月で今年は2月になったため、今年の1月は外国人観光客の動きが鈍かった。代わりに今月は堅調に推移した。2月は、プロ野球キャンプなどのイベントも重なり、毎年動きとしては良い。
		通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・特段変わらず、厳しい状況が続く。新規契約を各社で取り合っているため、新規があるものの解約も多い。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業）	販売量の動き	・同業他社の状況から大きな変化はないとみられる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率は、前年同月実績を下回っている。沖縄県の観光入域客数は増加する一方で競争も激しく、全てのホテルにおいて稼働率が右肩上がりではない状況である。
	x	商店街（代表者）	競争相手の様子	・本商店街では、近年は物販がうまくいかず大型店に取られ、代わりにここ4～5年で立ち飲み等の独特な飲食業が相当増えている。環境が悪くなりつつあるとの話がよく出ている。小さい店を競って出した結果、頭打ちの様相も呈している。
企業 動向 関連 (沖縄)		-	-	-
		食品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・旧正月やジュウルクニチといった沖縄行事が需要増につながっている。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・年度末に差し掛かっているが、公共工事の着工が遅れ、出荷が思うようには出ない。公共工事、民間工事向けは前年比減となっている。
	x	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築及びリフォーム共に、受注件数が減少した。
雇用 関連 (沖縄)		-	-	-
		求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・週平均の件数で比較すると、前年11月は913件、2月は962件で49件増加した。しかし、1月の1,053件よりは91件減少しており、積極的だった1月の求人と比較すると、2月は一服感が感じられた。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・人材確保のため、派遣から直接雇用へ切り替える企業が増えている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	周辺企業の様子	・企業の採用意欲は依然として強いが、来春卒業予定者の採用人数に変化はみえない。
	x	-	-	-